



**大分石油化学**  
**コンビナート便り**  
— 協力と協調 —  
**Vol.69**



**第14回大分地区RC(※1) 地域対話集會を開催しました**

大分臨海工業地帯に立地するクラサケミカル(株)を含む主催企業11社(※2)は、日本化学工業協会のレスポンシブル・ケア活動の一環として、2025年11月27日(木)鶴崎公民館(大分市東鶴崎1丁目)において、地域の皆さまとの対話集會(大分地区レスポンシブル・ケア地域対話)を開催しました。

この対話集會は2年に1度開催しており、今回で14回目の開催となります。これまで通り「地域の皆さまとの対話」を念頭において、地域企業が広くレスポンシブル・ケア活動全般に取り組んでいることについて理解を深めていただくことを目的として開催しました。

対話集會には、約140名の皆さまにご参加いただき、工場見学や講演を交え、企業から工場の安全対策や環境への取り組みを説明すると共

**第14回大分地区RC(※1) 地域対話集會を開催しました**

に意見交換を行いました。

対話集會前には、約70名の皆さまに工場見学にご参加いただき、大型バス3台で大分石油化学コンビナート内を巡りながら各工場の概要や安全・防災の説明をお聞きいただきました。

対話集會は、クラサケミカル(株)大分コンビナート代表の山田による「住民の皆さまが日頃関心をお持ちのことについて、理解が深まるための一助となる良い機会となることを祈念します」との挨拶で始まり、大分地方気象台南海トラフ地震防災官の高濱様より「地震と防災について」と題して地震と津波のしくみや南海トラフ地震についてのご講演をいただきました。

続けて(株)レゾナック・ガスプロダクツから「(株)レゾナック・ガスプロダクツの紹介」と「大分地区化学関連企業の保安防災の取り組み」について企業の事例を紹介しながら発表しました。

その後行われた総合質疑では、地震・津波対策や環境問題等について数多くの質問・意見・要望が寄せられ、論議が足りなかった部分は懇親会場に場所を変えて行われました。あらためて地域の皆さまの企業のレスポンシブル・ケア活動についての関心の高さが感じられました。

**大分石油化学コンビナート**  
〒870-0189  
大分県大分市大字中ノ洲2番地  
TEL 097-521-5112  
FAX 097-521-7738  
URL <https://www.crasus.co.jp/>

構成企業 / クラサケミカル株式会社  
NSスチレンモノマー株式会社  
サンアロマー株式会社  
シコク硫炭株式会社  
鶴崎共同動力株式会社  
株式会社鶴崎サンソセンター  
東亜合成株式会社  
日油株式会社  
日鉄ケミカル&マテリアル株式会社  
日本エラストマー株式会社  
日本ポリエチレン株式会社  
株式会社レゾナック  
株式会社レゾナック・ガスプロダクツ

大分石油化学コンビナートは、上記13社で構成されています。

[発行元]クラサケミカル(株) 大分事務所総務グループ

(※1)RC:レスポンシブル・ケアとは  
化学工業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において、自主的に「環境・健康・安全」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動を展開しています。この活動を「レスポンシブル・ケア(Responsible Care)」と呼んでいます。

(※2)主催企業11社  
NSスチレンモノマー(株)、クラサケミカル(株)、サンアロマー(株)、シコク硫炭(株)、住友化学(株)、東亜合成(株)、日油(株)、日本エラストマー(株)、日本ポリエチレン(株)、(株)レゾナック、(株)レゾナック・ガスプロダクツ



当社関係者による集合写真



植樹の様子  
(左)社長の福田と佐藤知事  
(右)情報科学高校生徒と



記念に配った  
クラサドーム焼き

**さくらサステナプロジェクト**

~さくらの植樹セレモニーを行いました~

クラサケミカル(株)は、地域社会への貢献や自然環境の保全を目的として、「さくらサステナプロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトは、クラサドーム大分の周辺に毎年桜の木を植え、美しい桜並木をつくっていく取り組みです。この桜並木が、地域の皆さまにとって新しい出会いや成長の象徴となることを目指しています。

その第一歩として、11月30日(日)、大分県の佐藤知事、福田知事や地域の自治会長の皆さまをお招きし、植樹セレモニーを行いました。

セレモニーでは、当社社長の福田が「毎年桜の木を植え続けることで、地域の皆さまにとって次世代への出会いや成長の象徴となる桜並木にしていきたい」と挨拶し、佐藤知事からは「桜の植樹の取り組みを通じて、大分スポーツ公園が長く愛される場所となることを願っている」とのお言葉をいただきました。

**<ロゴマークについて>**



ロゴマークは社内公募のアイデアをベースに作成しました。  
(選出:工務部電気グループ 中尾航平さん)

桜の花は地域をはじめとする多様なステークホルダーとのつながりを、幹は人々の手をイメージし、「地域とともに育てる」姿勢を表現しています。花びらの周りの水玉は、コーポレートカラーのブルーとグリーン、桜のピンク、大分県を象徴するライムグリーンで彩り、共創の広がりをイメージしました。下部の緑の弧は、大分スポーツ公園の丘陵や里山、そして当社ロゴの一部をモチーフにしています。

また、来賓の皆さまとヤマザクラの樹に土をかけるセレモニーを行った後、大分の未来を担う世代の代表として参加した大分県立情報科学高等学校の生徒によるメッセージで締めくくりました。

セレモニーには、来賓をはじめ当社従業員とその家族約70名が参加し、穏やかな天候の中、無事に終えることができました。

当社は、今後も桜の植樹と手入れを継続し、地域とともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



クラスケミカル(株)では、CSR活動として、毎年小学生・中学生を対象に化学実験の出前授業を実施しています。

今年も12月16・17日の2日間で、近隣の小学校2校を訪問し、計55名の5年生に「プラスチックとそのリサイクルを、お話と実験から学ぼう!!」を実施しました。

冒頭では、「石油化学って何だろう?」をテーマに、大分石油化学コンビナートと当社の概要を紹介しました。

続いて、ナフサを原料にエチレンやプロピレンなどの石油化学製品が作られ、ペレットを経て文房具・台所用品・スポーツ用具・自動車部品など身近な製品になる仕組みをクイズ形式で解説しました。子どもたちからは、普段学校で使っている下敷きや筆箱が「これも石油からできているの?」といった驚きの声が上がりました。

その後、一般社団法人プラスチック循環利用協会講師をお招きし、プラスチックの基礎「3R+Renewable(再生可能)」、国内のリサイクル状況などについて学びました。

後半の実験では、ペットボトルとキャップの比重が異なることに着目し、「水に浮くか・沈むか」を予想してもらい、様子を観察しました。

次に射出成形機を使い、ペットボトルのキャップを原料としたペレットから「クリップ」を作りました。小さな米粒状のペレットがクリップに生まれ変わる瞬間に、子どもたちは興味津々でした。

最後にペットボトルの破片から糸を作る実験を行いました。回収したペットボトルから糸が出てきたときには歓声が上がりました。再生工程が身近に感じられた様子でした。

当社は、今後も次世代への環境教育を通じて、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

### 活動トピックス

2025 10/21 11/21

**大分県高圧ガス保安大会、並びに九州地区高圧ガス大会で表彰されました**

2025年10月21日に大分県高圧ガス保安大会が開催され、大分県知事表彰の「優良保安責任者」、(一社)大分県高圧ガス保安協会会長表彰の「優良保安従事者」、並びに同年11月21日に九州地区高圧ガス大会が開催され、「優良製造保安責任者」表彰をそれぞれ受賞しました。

これらの表彰は、長年にわたり、高圧ガスの取扱いに関する保安活動の取り組みが高く評価され贈呈されたものです。今後も高圧ガスの取扱いに関する安全確保に積極的に取り組んでまいります。



2025 11/14

**全国ボイラー大会で感謝状を受領しました**

2025年11月14日に「全国ボイラー大会」が開催され、協会の活動に貢献した企業・団体が表彰されました。

この「感謝状」は、化学設備関係第一種圧力容器取り扱い、作業主任者講習会において、長年にわたり講師を派遣し、教育・人材育成に貢献したことが評価され贈呈されたものです。

今後も第一種圧力容器やボイラーの取扱いに関する安全確保に積極的に取り組んでまいります。



2025 12/12

**大分市佐賀関の大規模火災被害へ義援金を寄付しました**

2025年11月18日、大分市佐賀関の大規模火災により被災した皆さまにお見舞い申し上げます。

12月12日、大分石油化学コンビナートは、被災された皆さまおよび被災地域への支援として、大分県に100万円を寄付いたしました。

これは、大分石油化学コンビナートが実施しているアルミ缶回収活動で集められたアルミ缶の売却によって得られたものです。

大分コンビナートでは、今後もアルミ缶回収活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでまいります。



1/15 「特定認定高度保安実施者」に認定

高圧ガス保安法における「特定認定高度保安実施者」として認定されたことお知らせいたします。

特定認定高度保安実施者とは、高圧ガス保安法に基づき、経済産業大臣から認定される「認定高度保安実施者」のうち、さらに高度なリスク管理を実施していると認められた事業者に付与されるものです。この認定取得により、最長8年の連続運転が可能となるほか、保安検査についても当社自らが方法を策定・実施することが可能となりました。

当社は、今後も明日の暮らしを化学で支えるために、保安レベルのさらなる向上を目指し、安全・安定・安心運転を継続してまいります。



**Jリーグクラブ 大分トリニータとの ユニフォーム スポンサー契約を締結**

クラスケミカル(株)は、Jリーグ所属の大分トリニータを運営する株式会社大分フットボールクラブと明治安田Jリーグ百年構想リーグのユニフォーム(鎖骨)スポンサー契約をいたしましたのでお知らせします。(継続7年目)

(1)契約内容  
大分トリニータユニフォーム(鎖骨)、ホームゲーム大型ビジョン、インタビュースタンドなどの社名ロゴの掲出など

(2)契約期間  
2026年2月1日〜6月30日(明治安田Jリーグ百年構想リーグ期間)

当社は今後も、大分トリニータとともに地域の活性化・スポーツ振興に貢献してまいります。



©OITA F.C.

**ハガキでのご応募はこちら!**

①答え②〒住所③氏名、年齢④電話番号をご記入のうえ、下記住所までお送りください。「大分石油化学コンビナート便り」に対するご意見、ご感想もお待ちしております!

〒870-0189 大分県大分市大字中ノ洲2番地  
クラスケミカル(株) 大分事務所総務グループ  
大分石油化学コンビナート便り vol.69 クイズ係

\*ご応募の際に、ご記入いただく個人情報は、当選者への商品発送の用途以外では使用いたしません。

**読者クイズ応募フォーム**

クイズ正解者の中から抽選で5名の方に商品を進呈いたします。ハガキと二次元コードのどちらからでもご回答いただけます!

QRコード

**2026年6月30日(火)まで 回答できます**

**Q. どのクイズにご応募ください! お待ちしています**

資源循環型社会の構築に向けた取り組み「3R+Renewable」さて、Renewableの意味とは次のどれでしょう。

A: 再使用  
B: 再資源化  
C: 再生可能

**お気づきの際は...**

当コンビナートは、日頃から安全・安定・安心操業に万全を尽くし、地域の皆さまにご迷惑をおかけしないよう細心の注意を払っていますが、もし何かお気づきの点がありましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

平日▶総務グループ TEL 097-521-5112  
休日・夜間 ▶防災センター TEL 097-521-5131

連絡先